

## 事後評価調書(案)

I 事業概要						
事業名	農業農村整備事業（国営附帯県営農地防災事業）					
地区名	おおえがわじょうりゅう 大江川上流地区					
事業箇所	いちのみやし こうなんし 一宮市、江南市					
事業のあらまし	<p>本地区は愛知県北西部に位置し、一級河川木曾川左岸に広がる流域 734ha の排水を担う基幹的な農業用排水路を整備するものである。</p> <p>地区内の時之島排水路及び大江排水路は 1969 年から 1991 年に国営かんがい排水事業等により整備された。</p> <p>しかし、既設排水路の老朽化に伴う水路の破損による機能低下とともに、近年の都市化の進展による降雨流出量の増加により排水状況が著しく悪化し、豪雨時にはしばしば湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、大江排水路の下流を整備する国営総合農地防災事業と連携して排水路を改修し、未然に湛水被害を防止し、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的として、2005 年度から国営附帯県営農地防災事業大江川上流地区を実施し、2017 年度に完成した。</p> <p>なお、事業計画段階から既存施設の一部を活用することとしており、事業費の低減を図っている。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機能低下した排水路を改修し、農地や公共施設等の湛水被害を防止する。 （基準雨量 259mm/2 日、1/10 年確率降雨量）</li> </ul> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	28.2 億円		■工事費 22.3 億円、 ■用補費 3.0 億円、 ■その他 2.9 億円			
事業期間	採択年度	2005 年度	着工年度	2006 年度	完成年度	2017 年度
事業内容	排水路工 6.8km					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	【達成状況】				
		事業完了年度からの 5 年間で、最大 2 日連続降雨量は 2017 年 10 月 22 日～10 月 23 日に 235.5mm を観測したが、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。				
		降雨実績 (一宮観測所降雨データ)				
		区分	計画	2017	2018	2019
最大 2 日連続雨量	259.0mm	235.5mm	132.0mm	113.5mm	116.0mm	194.0mm
(最大 1 時間雨量)	(32.3mm)	(36.5mm)	(33.0mm)	(40.0mm)	(34.5mm)	(36.0mm)
		【達成状況に対する評価】				
		最大 2 日連続雨量は計画基準雨量以下であるが、最大 1 時間雨量では計画以上の雨量に対して湛水被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。				

	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 —</p> <p>【達成状況に対する評価】 —</p>																																								
<p>②事業 効果の発現状況</p>	<p>【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】</p> <table border="1" data-bbox="371 349 1426 831"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>再評価時 (2012)</th> <th>実績 (2022)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>2005～2015 (11年間)</td> <td>2005～2017 (13年間)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費 (億円)</td> <td>工事費</td> <td>26.3</td> <td>22.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償費</td> <td>3.3</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3.8</td> <td>2.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>33.4</td> <td>28.2</td> <td>5.2億円減</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">効果の 算定要因</td> <td rowspan="3">排水</td> <td>流域面積</td> <td>734 ha</td> <td>734 ha</td> <td>増減なし</td> </tr> <tr> <td>農地面積</td> <td>256 ha</td> <td>236 ha</td> <td>20ha減</td> </tr> <tr> <td>宅地等面積</td> <td>478 ha</td> <td>498 ha</td> <td>20ha増</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業期間に対する評価】 事業期間を2年(2015年→2017年)延長したが、営農に支障がない非灌漑期に施工しているため、期間延長による影響はなかった。</p> <p>【事業費に対する評価】 工事費の積算精査及び工事の入札結果(請負差額)等により、事業費が5.2億円減で事業完了した。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】 再評価時と比較して農地面積は減少しているものの、流域面積の増減はない。効果については、排水路の改修により湛水被害は発生しておらず、概ね計画どおり発現していると評価できる。</p>	項目		再評価時 (2012)	実績 (2022)	備考	事業期間		2005～2015 (11年間)	2005～2017 (13年間)		事業費 (億円)	工事費	26.3	22.3		用地補償費	3.3	3.0		その他	3.8	2.9		合計	33.4	28.2	5.2億円減	効果の 算定要因	排水	流域面積	734 ha	734 ha	増減なし	農地面積	256 ha	236 ha	20ha減	宅地等面積	478 ha	498 ha	20ha増
	項目		再評価時 (2012)	実績 (2022)	備考																																					
事業期間		2005～2015 (11年間)	2005～2017 (13年間)																																							
事業費 (億円)	工事費	26.3	22.3																																							
	用地補償費	3.3	3.0																																							
	その他	3.8	2.9																																							
	合計	33.4	28.2	5.2億円減																																						
効果の 算定要因	排水	流域面積	734 ha	734 ha	増減なし																																					
		農地面積	256 ha	236 ha	20ha減																																					
		宅地等面積	478 ha	498 ha	20ha増																																					
③事業実施による環境の変化	<p>工事施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用するなど、周辺環境に配慮したため、生活環境や自然環境への影響を最小限に抑えることができた。</p>																																									
<b>III 対応方針(案)</b>																																										
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。																																									
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置等は不要である。																																									
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画・工法で施工しているため、同種事業に反映すべき事項はない。																																									
<b>IV 事業評価監視委員会の意見</b>																																										
<b>V 対応方針</b>																																										